

GEITAN NEWS!



第1回オープンキャンパスを開催しました

7月14日、今年度第一回目のオープンキャンパスを開催しました。今年も多くの生徒さん、保護者の方、教員の方々にお集まり頂き、全体説明会の会場であった大講義室はすぐに満席となり、大講義室との中継を繋いで使用した2教室も席が埋まり、大盛況となりました。全体説明会の後は、施設見学や学生によるミニコンサートの披露、ネイティブ教員に学ぶ韓国語・中国語講座、情報処理や画像処理、フラッシュなどを実際にパソコンを使って体験したりと、美術・音楽・国際総合・情報コミュニケーションそれぞれが特色あるプログラムを行いました。第2回オープンキャンパスは9月15日(日)に開催します。



専攻科造形専攻の学生がフリーペーパーを発行!



西口ゼミ(ビジュアルデザイン)の学生、川野史織さん、小崎祐維さん、首藤紗映香さんがフリーペーパー「hum-hum(フムフム)」を発行しました。情報収集から企画、取材、撮影、原稿作成、デザイン、配布まですべてを学生が担当。街中で感じるアートとデザインの魅力を小さな一冊に込めています。第2号は9月1日に発行されたばかり。市美術館や市内ギャラリー、雑貨店、飲食店等に設置しています。

第4回府内学生エコフェスタを開催しました

今年で4回目を迎えた「府内学生エコフェスタ」を開催しました。これは、本学学生と府内次世代フォーラムが中心となって行っているイベントで、今年は「大友歴史保存会」が後援に加わり、さらに、大分らしさが加わったものとなりました。学生によるトーク番組やシンポジウム、LIVEのほか、午後7時には府内五番街(時計台周辺)に並べられたキャンドル約1000個に点灯、やわらかな明かりが府内五番街の石畳を幻想的に包み込みました。



大分ケーブルテレコムと相互協力協定を結びました



7月18日、大分ケーブルテレコムと本学が相互協力協定を締結し、その調印式を、ホルトホール大分内にある大分ケーブルテレコムのサテライトスタジオにて行いました。大分ケーブルテレコム社長佐藤英生氏は「これを機会に、芸文短大の学生さんにもっとこのスタジオを活用して頂きたいと思います。大分駅のすぐそばという立地にも恵まれた場所にありますので、広く市民のみならず訪れて頂きたいと思います」と話されました。

ホルトホール開館記念式典で市歌を披露しました

7月20日、大分駅南に「ホルトホール大分」が開館し、大ホールで開館式典が催されました。その式典冒頭で大分市歌が合奏され、本学音楽科森口真司准教授の指揮のもと、同科学生の歌声が新しいホールに響き渡りました。大分市歌は、昭和58年に新大分市発足20周年を記念して制定されたもので、一般の方から公募し選ばれた歌詞に、本学 中山欽吾学長の養父である中山佛一氏が作曲を手がけたものです。



作品展「19展」でギャラリートークを開催しました



於保ゼミメディアデザイン(旧テキストスタイル)の学生6名が「人間関係:Chain」、「恋愛:Binder」、「決まり:Copy」、「夢:Poolounga」をテーマに、許されること、許されないことを様々な形で表現した作品展「19展」を開催しました。「19展」は学内ギャラリー「設置」のレクチャークラッシュなど、これまでの学内ギャラリーを更に進化させた形で展示、話題をよみました。期間中に開催したアーティストトークでは、作品を手がけた6名の学生と上級学年の専攻科生がモデレーターを務め、それぞれの作品について思いを語りました。多くの方々が集まって頂き、イベント終了後も作品談義で盛り上がりがありました。



Hiroshima Peace Campのボランティアに参加しました

Hiroshima Peace Campは、8月6日の広島平和記念式典に出席する方のために、広島市立大学グラウンドをキャンパスとして開放するイベントです。そのボランティアに本学から2名の学生が参加しました。参加したのは、国際総合学科1年の柏木和さんと河野あとりさん。8月4日から7日にかけて、宿泊者のサポートや平和イベントの手伝いをしました。また、期間中には記念式典に参列し、広島市中区中野や宮島での街歩きツアーにも参加。原爆のことを知り、平和の尊さをあらためて実感する貴重な機会となりました。写真は、参加者が折った千羽鶴を「原爆の子の像」の折り鶴ブースに捧げるころのワンショットです。

海外語学実習で語学と文化を体験!

国際総合学科では、学生の休暇を利用して海外での語学実習を実施。8月〜9月にかけてイギリスと韓国を訪れています。「イギリス」4週間エセックス大学で実習。午前〜午後までみっちり英語を勉強したり、授業後バブに出かけたり、毎週土曜日にはバス旅行でロンドンやオックスフォードを訪れるなど、語学だけでなくイギリスの文化や社会を体験。「韓国」3週間、高麗大学校で実習。韓国語のほか、チャマ・チョリ作りやキムチ作り、陶磁器作りや公演鑑賞、ソウル市内ツアーや韓国ドラマロケ地ツアーなど韓国文化体験を実施。出発前には事前研修会を行い、韓国におけるマナーや文化についての勉強をして実習に備えました。多くの貴重な経験をして、無事に帰国してこるのを楽しみにしています。



吹奏楽実践講座を開催しました



本学音楽棟小ホールにて「芸短オーブンカレッジ公開講座2013 吹奏楽実践講座」を開催しました。吹奏楽コンクールの課題曲を題材に、本学吹奏楽の学生と森口真司准教授によるリハーサルを行い、受講者が実際に指揮をすることで現場で生じる問題点について考えていきました。また、本学 松倉利之教授と清水方敬教授が演奏者の立場からさまざまな問題提起を行い、その解決策を受講者とともに考察しました。